



【団体概要】

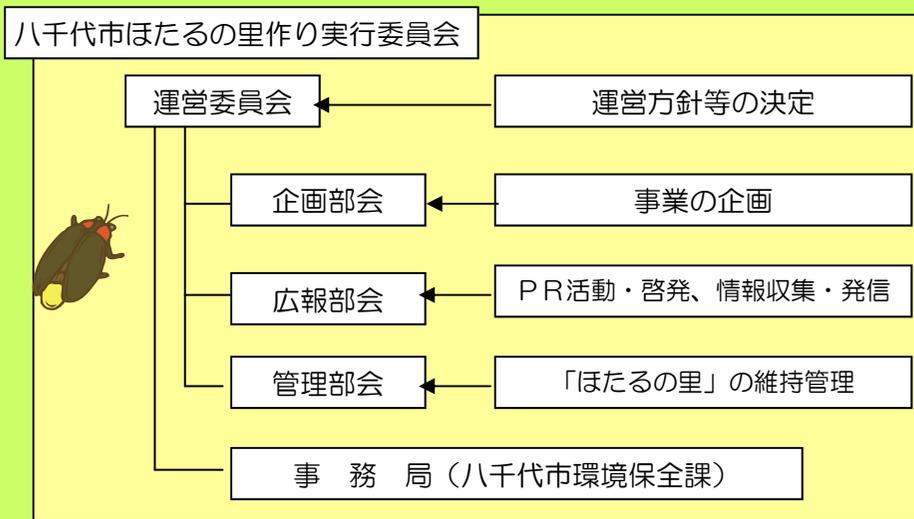
緑ゆたかな八千代市の自然を次世代に引き継ぐため、「ほたるの里づくり」を進め、生物の多様性を維持する自然の保全活動、普及啓発を推進する。

ホテルを通して、自然の仕組みの理解を啓発するとともに、生きもの・自然を大切に人の輪を広げている。

市民と行政（八千代市）が緊密に連携して保全活動している。

会員数：155人（平成19年度） 設立：平成10年

実施体制と活動



【主な活動実績】

- 「ホテルサミットin八千代」
テーマ：ホテルもヒトもかがやくまちに
開催：平成14年10月26日 会場：勝田台文化センター
- カ・コ・ラ環境教育賞主催者賞受賞（平成15年8月20日）
- ちばほたるマップ2004作成（平成16年10月）
- 平成20年度おもな活動内容
・ナイトウォッチング（7月5日）・バッタ、イコノの学習会（10月18日）

モデル事業

ヘイケボタル、ニホンアカガエル、ジャコウアゲハの保全と育成

近年の住宅開発などが活発になり、自然環境が危機的状態である。この状況の中、八千代市ホテルの里には、ヘイケボタル、ニホンアカガエル、ジャコウアゲハが生息している。しかしながら、年々減少傾向があり、保全・育成事業に取り込む必要がある。

活動の内容

倉庫等の環境整備及び調査道具を揃え、ヘイケボタル、ニホンアカガエルの産卵場所である湿地の整備や調査、保全・育成事業が進めた。今後も継続的に整備、調査を実施していく。また、市内で減少の一途であるジャコウアゲハを保全するため、食草を移植。食草はつる性であるため、繁茂するようフェンスを設置した。

- ①ヘイケボタル、ニホンアカガエル、ジャコウアゲハの現況調査
- ②ウマノズクサ（ジャコウアゲハの食草）の育成活動と湿地の整備活動



掲示板及び倉庫の購入



ニホンアカガエル（湿地）



フェンス設置(ウマノズクサ)

今後の方向性

定期的に生物調査を実施しながら、ヘイケボタルやニホンアカガエル、ジャコウアゲハの保全のための整備を進めていく。また、実施した生物調査をもとに市民（ホテルメイト）を対象とした学習会を実施していく予定である。また、里と斜面林の間の道路の交通量が多いことから、ヘイケボタルやニホンアカガエルの生育に影響がある。その問題についても、実行委員会で検討し、改善していく。

問い合わせ先：〒276-8501 八千代市大和田新田312-5 八千代市環境保全課内
 代表者：加藤 賢三（問い合わせ：事務局 環境保全課環境政策室）
 TEL：047-483-1151（内3215） FAX：047-482-0930
 メール：kankyoi@city.yachiyo.chiba.jp
 URL：http://genki365.net/gnky/gallery_view/gallery_page_main.php?thumbnail=on&group_id=G0000043